2021年度実績の概要

2022年5月13日



本資料には、当社グループの財政状態および経営成績に関する 当社グループおよびグループ各社経営陣の見解、判断または現 在の予想に基づく、「将来の業績に関する記述」が含まれており ます。多くの場合、この記述には、「予想」、「予測」、「期待」、 「意図」、「計画」、「可能性」やこれらの類義語が含まれますが、 この限りではありません。また、これらの記述は、将来の業績を保 証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであり、実 際の業績は、本資料に含まれるもしくは、含まれるとみなされる 「将来の業績に関する記述」で示されたものと異なる可能性があ ります。実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実性としては、 以下のようなものがあります。国内外の経済金融環境の悪化、 保有株式に係るリスク、不良債権残高および与信関係費用の 増加、当社グループのビジネス戦略が奏功しないリスク、合弁事 業・提携・出資・買収および経営統合が奏功しないリスク、海外 における業務拡大が奏功しないリスクなどです。こうしたリスクおよ び不確実性に照らし、本資料公表日現在における「将来の業 績に関する記述 |を過度に信頼すべきではありません。当社グ ループは、いかなる「将来の業績に関する記述」について、更新や 改訂をする義務を負いません。当社グループの財政状態および 経営成績や投資者の投資判断に重要な影響を及ぼす可能性 がある事項については、本資料のほか、有価証券報告書等の本 邦開示書類や、当社が米国証券取引委員会に提出した Form 20-F等の米国開示書類、当社グループが公表いたしま した各種開示資料のうち、最新のものをご参照ください。

為替レート(月末TTM)

	21/3末	22/3末
1ドル	110.71円	122.41円
1ユーロ	129.75円	136.81円

本資料における計数、表記の定義

SMFG	三井住友フィナンシャルグループ(持株会社)
SMBC	三井住友銀行
SMBC信託	SMBC信託銀行
SMFL	三井住友ファイナンス&リース
SMBC日興	SMBC日興証券
SMCC	三井住友カード
SMBCCF	SMBCコンシューマーファイナンス
三井住友DS	三井住友DSアセットマネジメント
SMBCAC	SMBC Aviation Capital
主要現地法人	SMBCバンクインターナショナル、 SMBCバンクEU、三井住友銀行(中国)
連結	三井住友フィナンシャルグループ連結
BC単体	三井住友銀行単体
経費(BC単体)	臨時処理分を除く
業務純益	一般貸倒引当金繰入前
親会社株主純利益	親会社株主に帰属する当期純利益
リテール事業部門 (RT)	国内の個人向けビジネス
ホールセール事業部門(WS)	国内の法人向けビジネス
グローバル事業部門(GB)	海外ビジネス
市場事業部門(GM)	市場関連ビジネス

決算のポイント

	連結業務純益	親会社株主純利益	配当
21年度実績	11,529億円 (前年比+689億円)	7,066億円 (前年比+1,938億円)	210円/株 (前年比+20円)
22年度目標	12,350億円 (中計策定時:12,350億円)	7,300億円 (中計策定時:7,100億円+a)	220円/株(配当性向41%)

中期経営計画の財務目標



^{*1} 営業経費から「収益連動経費」「先行投資にかかる経費」等を除いたもの。為替は1米ドル=105円で固定

3

Copyright © 2022 Sumitomo Mitsui Financial Group. All Rights Reserved.

業績サマリー

ロシア・ウクライナ情勢によるマイナス影響を一定計上するも、 連結業務純益、親会社株主純利益ともに、前年比・通期業績目標比で増益

	(億円)	21年度	前年比	目標比	連結粗利益	リテール・ホールセール・グローバル事業部門の 力強い増益により、市場事業部門の債券売却損等を吸収	
1	連結粗利益	29,455	+1,393			SMBC日興の事案による影響は▲100億円程度	
2	営業経費	▲18,211	▲ 740		営業経費	前年度のCOVID-19影響の反動や	
_	(経費率)	61.8%	△0.5%			SMCCの新規顧客獲得好調に伴う変動費上昇により増加	
3	持分法投資損益	285	+35		持分法投資損益	SMBCACにてリース機体を減損(▲470億円)	
4	連結業務純益	11,529	+689	+329		アジア出資先の業績回復等により前年比増益	
5	与信関係費用	▲ 2,744	△861	▲ 744	与信関係費用	フォワードルッキング引当も含め、 ロシア関連与信に対して▲750億円の引当を計上	
6	株式等損益	2,091	+1,165				
7	その他	▲ 469	+581		株式等損益	政策保有株式売却益(1,620億円、YoY+970億円) を中心に増益	
8	経常利益	10,406	+3,296	+606	7.小仙	前年度に計上した株式関連の先物取引における損失の	
9	特別損益	▲ 1,110	▲ 723		その他	反動等により増益	
10	税コスト	▲2,145	▲ 582			利息返還損失引当金繰入:▲320億円、YoY△70億円	
11	親会社株主純利益	7,066	+1,938	+366	特別損益	SMBCおよびSMBC信託の店舗・ソフトウェア、 SMBC Rail Servicesの貨車リース資産の減損を実施	
12	ROE	7.3%	+1.9%			5. 156 · G. V. CCS - 5. 1 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 -	

(参考) 主要グループ会社の業績

SMBC

	(億円)	21年度	前年比	目標比	
1	業務粗利益	15,792	+975	_	
2	うち資金利益	10,911	+1,547		
3	うち投資信託解約損益	415	+77		
4	国内	6,388	+553		
5	海外	4,523	+994		
6	55役務取引等利益	3,985	+678		
7	国内	1,982	+220		
8	海外	2,003	+457		
9	うち特定取引利益 +その他業務利益	874	▲1,251		
10	うち国債等債券損益	▲ 424	▲ 1,223		
11	経費	▲8,572	▲ 407		
12	業務純益	7,219	+568	+469	
13	与信関係費用	▲ 1,611	△816	▲811	
14	株式等損益	1,573	+937		
15	その他臨時損益	279	+778		
16	当期純利益	5,463	+2,083	+863	

■ SMBC以外の主要グループ会社

		F度実績、右:i	前年比)			
(億円)	SMCC		SMBC	日興 *1	SMBC	CF
業務粗利益	4,060 +	-204	3,871	▲ 426	2,549	▲ 48
経費	▲3,399 ▲	226	▲ 3,182	▲ 47	▲ 1,164	▲ 58
業務純益	659	▲ 28	689	▲ 473	1,385	▲ 106
当期純利益	198 🛦	160	514	▲ 407	588*	² +47

(持分法適用)

	SMBC信託		三井住法	三井住友DS 5		0% SMFL *3 50%	
業務粗利益	485	+83	392	+51	2,334	+567	
経費	▲ 441	▲ 2	▲302	△21	▲ 1,032	▲175	
業務純益	44	+81	91	+73	1,382	+430	
当期純利益	▲ 159	▲ 74	54	+334	354	+17	

*2 内部取引を控除 *3 内部管理ベース

^{*1} SMBC日興の海外持分法適用関連会社(SMFGの連結子会社)の利益を含む内部管理ベース

2022年度の業績目標および配当予想

連結

	実績	目標		
(億円)	21年度	22年度	上期	
連結業務純益	11,529(12,350	6,000	
与信関係費用	▲2,744 (2 ▲2,100	▲ 1,000	
経常利益	10,406	10,600	5,200	
親会社株主純利益	7,066	3 7,300	3,500	

① 連結業務純益	各種中計施策の推進によるRT・WS・GBの 収益増強等で前年比+820億円の増益
② 与信関係費用	巡航速度程度である▲2,100億円を予想 ✓ ロシア向け与信への必要な引当は 21年度決算に計上済
3 親会社株主 純利益	株式等損益の減少も踏まえ、 前年比+230億円の増益

BC単体

	実績	目標		
(億円)	21年度	22年度	上期	
業務純益	7,219	7,300	3,700	
与信関係費用	▲ 1,611	▲800	▲ 400	
経常利益	7,460	7,100	3,600	
当期純利益	5,463	4,900	2,600	

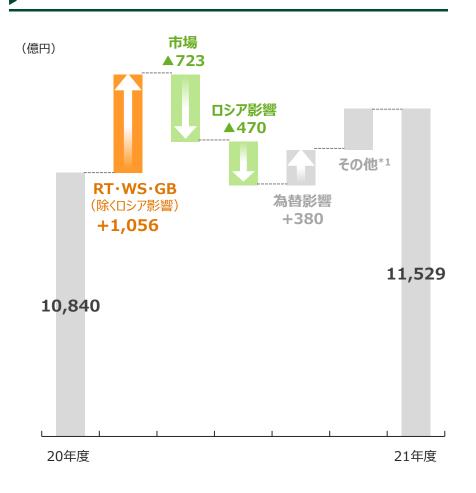
配当予想

	実績 21年度	前年比	予想 22年度	前年比
1株当たり配当	210円	+20円	220円	+10円
配当性向	41%	▲10%	41%	▲0%

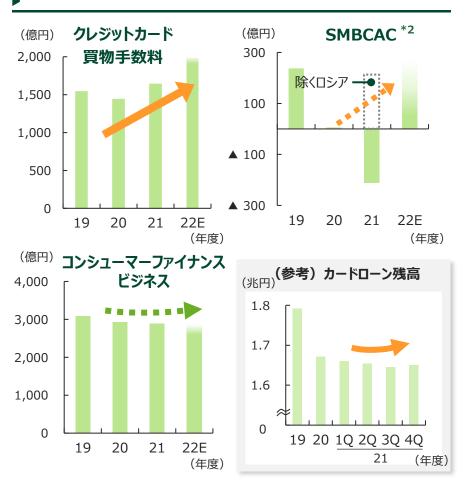
連結業務純益

21年度は、ロシア影響・市場事業部門の減益を WS・GB事業部門の増益等で打ち返し COVID-19影響はコンシューマーファイナンスで残るも、カードローン残高の減少は底打ち

増減の内訳



COVID-19影響



ロシア・ウクライナ情勢による財務影響

21年度に予防的な引当・減損を実施、ボトムラインへの影響は▲1,000億円程度 22年度は、ロシア・ウクライナ情勢の帰趨次第で大きなボラティリティあり

21年度

業務純益

▲470億円

● SMBCACにおける機体減損 (ロシア航空会社宛リース)

機体簿価の52% - 保証金等

=▲820億円

→ 税コスト・FG持分割合 (66%) 勘案後 = ▲470億円

クレジットコスト

▲750億円

● ロシア系債務者宛与信の3割強

うちフォワードルッキング引当

▲400億円

ボトムライン

▲1,000億円

22年度

- 21年度実施した予防的引当・減損で吸収の想定
- アップサイドからダウンサイドまでボラティリティあり

アップサイド

- さらなる与信の劣化が起こらず、 フォワードルッキング引当の取崩しが発生
- SMBCACにおける早期の保険適用

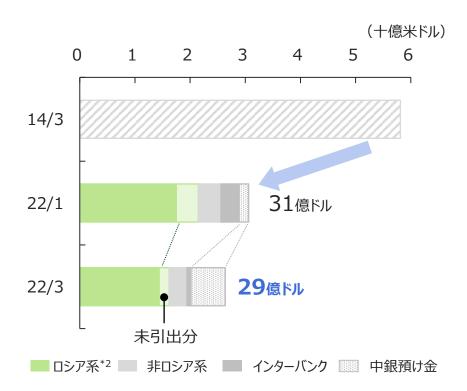
ダウンサイド

- 追加のクレジットコスト発生
- ロシア現地法人の接収

(参考) ロシアにおけるSMBCグループの現状

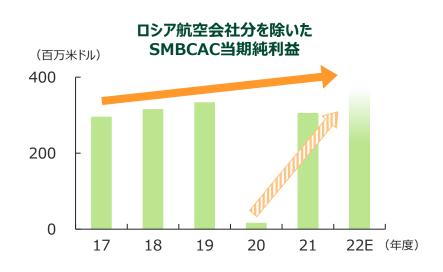
ロシア向け与信(含む現地法人)

- 与信額は22/1末比2億ドル減少
- ルーブル建て貸出金の返済に伴い、中銀預け金が増加



航空機リース

- 在ロシア機材簿価:8億ドル(3月末減損実施後) 全機体簿価の約6%に相当
- ■ロシア航空会社宛に全リース契約の解約および 機体運航停止要請を通知済 (35機のうち1機回収完了)
- 全ての機体は保険に加入
- ロシア・ウクライナ影響を除けば、業績は回復トレンド



^{*1} 内部管理、最終リスク国ベース。SMBCと現地法人における貸出金、コミットメントライン、保証取引、出資金等

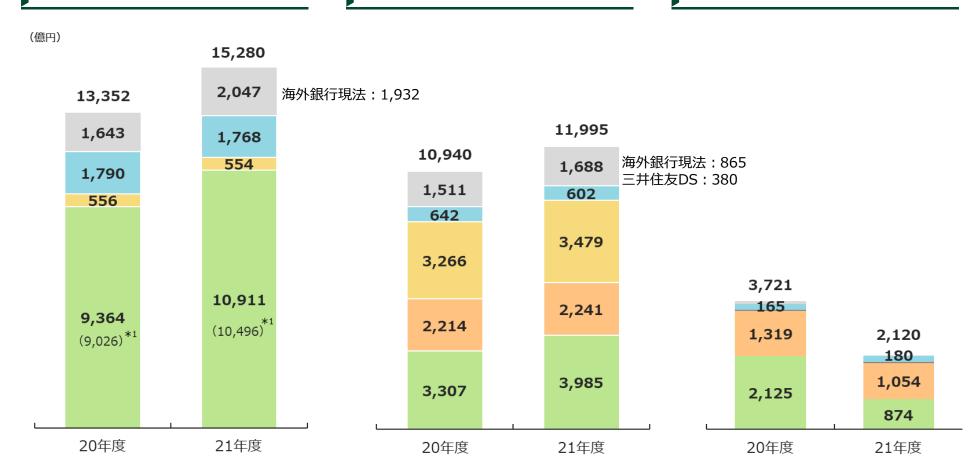
連結粗利益



資金利益

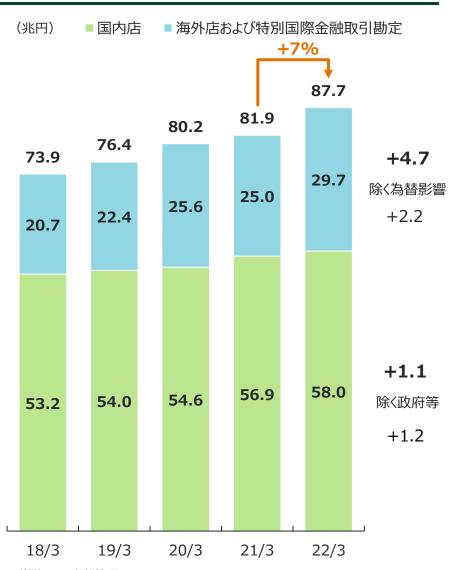
位務取引等利益

▍特定取引 + その他業務利益



貸出金*1

貸出金残高



国内預貸金利回差

(%)	21年度	前年比	上期	下期
貸出金利回	0.84	+0.00	0.85	0.83
預金等利回	0.00	△0.00	0.00	0.00
預貸金利回差	0.84	+0.00	0.85	0.83
(参考)政府等向け貸出金控	除後			
貸出金利回	0.86	▲0.00	0.86	0.85
預貸金利回差	0.86	▲0.00	0.86	0.85

期中平均貸出金残高・スプレッド*2

	平均残高(兆円)		スプレット	% (%)
	21年度	前年比*4	21年度	前年比
国内貸出	55.3	▲ 1.1	0.71	+0.01
除く政府等・SMFG向け	53.0	▲0.7	0.74	+0.01
うち大企業	18.6	▲0.7	0.54	+0.04
うち中堅・中小企業	19.2	+0.3	0.61	+0.01
うち個人	12.0	▲0.3	1.38	▲0.04
グローバル事業部門 運用資産 ^{*3}	3,406 億ドル	+31 億ドル	1.20	+0.04

^{*1} BC単体 *2 内部管理ベース

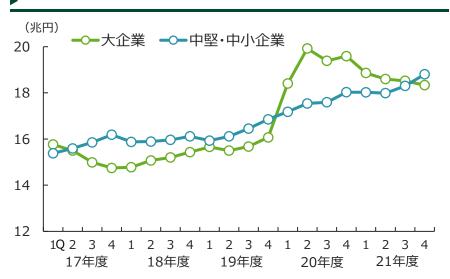
^{*3} SMBC、主要現地法人、SMBC信託等の合算。貸出金・貿易手形・有価証券の合計 *4 為替影響等調整後ベース

国内預貸金*1

貸出金残高*2



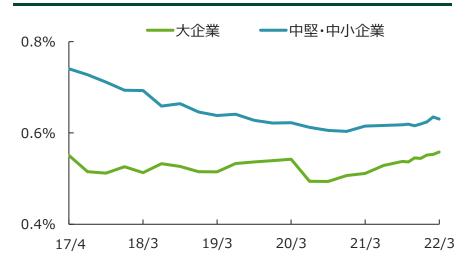
法人向け平均貸出金残高^{*2,3}



預金残高



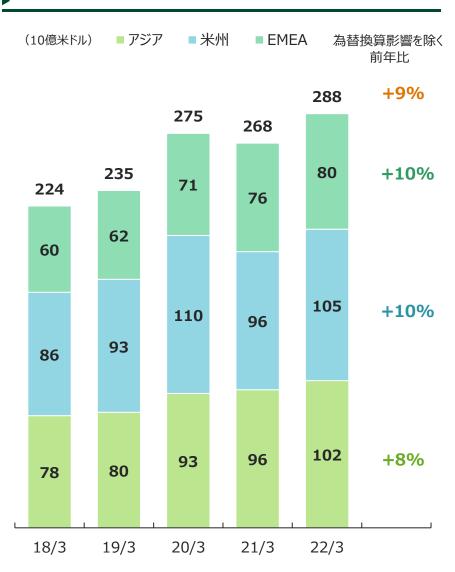
法人向け貸出金スプレッド*2,4



^{*1} BC単体 *2 内部管理ベース *3 四半期平残、政府向け等を除く。中堅・中小企業はエリア企業向けを除く *4 ストックベース、政府向け等を除く

海外預貸金*1

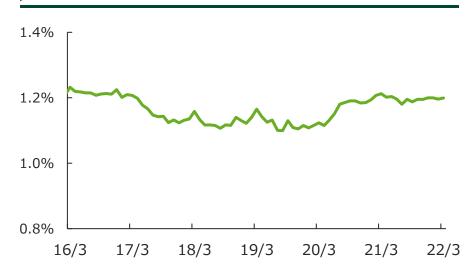
貸出金残高



外貨ファンディング



貸出金スプレッド*2



アセットクオリティ

与信関係費用*1



連単差の主な内訳 (概数)

(億円)	21年度	前年比
SMBCCF	▲ 480	△ 40
SMCC	▲ 250	▲ 30
BC海外現法	▲ 450	▲ 80

不良債権残高*2

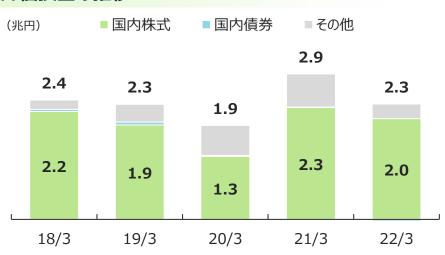


有価証券①

【その他有価証券の内訳(連結)

	残高		評価	損益
(億円)	22/3末	21/3末比	22/3末	21/3末比
合計	381,149	+17,037	22,772	▲ 6,546
国内株式	34,034	▲ 2,899	20,337	▲2,220
国内債券	195,603	+19,051	▲ 501	▲ 581
うち 国債	157,742	+14,806	▲ 471	▲330
その他	151,512	+885	2,936	▲3,745
うち外債	120,556	▲ 544	▲ 4,488	▲ 4,501

評価損益の推移



政策保有株式

削	减額	1,220億円
	20年度	550億円
	21年度	670億円
未	売却の売却応諾残高	580億円
削	減・応諾済総計	1,810億円

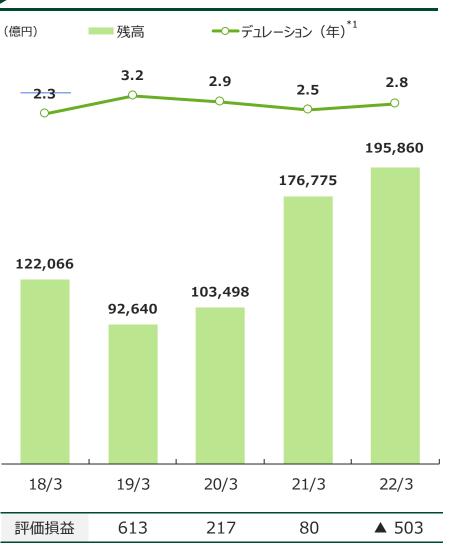
削減計画

2020-24年度(5ヵ年)で△3,000億円削減



有価証券②

円債(連結)



▲ 外債(連結)

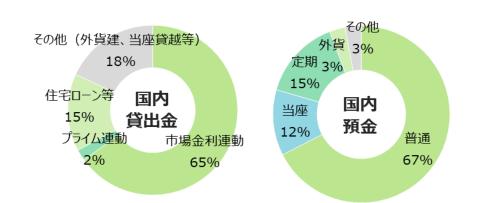


バランスシート

■連結B/S

	•	
(兆円)	22/3末	21/3末比
資産の部合計	257.7	+15.1
うち 現預金	74.8	+2.2
うち 日銀当座預金(BC単体)	58.6	▲ 1.2
55 貸出金	90.8	+5.7
うち 国内貸出金(BC単体)	58.0	+1.1
55 大企業 ^{*1}	19.2	▲ 0.2
中堅·中小 ^{*1}	19.6	+0.5
個人 ^{*1}	11.9	▲ 0.2 ^{*2}
55 有価証券	38.5	+2.0
うち その他有価証券	38.1	+1.7
うち 株式	3.4	▲ 0.3
国債	15.8	+1.5
外国債券	12.1	▲ 0.1
負債の部合計	245.5	+14.8
うち 預金	148.6	+6.6
うち 国内預金(BC単体)	118.7	+6.0
個人	56.1	+2.7
法人	62.6	+3.3
うち 譲渡性預金	13.1	+0.5
純資産の部合計	12.2	+0.3
預貸率	56.2	2%

貸出金・預金の構成比(BC単体)*1



∮ 外貨B/S^{*1,3}

(10億米ドル)

貸出金等 361	顧客性預金 (含む中銀預金) 235 中長期調達(社債、円投等) 129
その他 125	CD/CP 74
外債、NCD 69	インターバ`ンク(含むレポ) 117

資産・負債 555

資本・リスクアセット

	22/3末	所要水準*1
自己資本比率		
総自己資本比率	16.56%	11.5%
CET1比率(完全実施基準)	14.45%	8%
除くその他有価証券評価差額金	12.1%	-
CET1比率(バーゼルⅢ最終化)	11.2%	8%
除くその他有価証券評価差額金	10.0%	-
外部TLAC比率		
リスクアセットベース	24.98%	18.0%
レバレッジエクスポージャーベース	9.54%	6.75%
レバレッジ比率	5.17%	3%
LCR(21年度4Q平均)	141.7%	100%

(億円)	21/3末	22/3末
総自己資本	122,893	119,838
Tier1資本	111,993	111,862
うちCET1資本	105,628	104,584
Tier2資本	10,900	7,975
外部TLACの額	193,733	206,281
リスクアセット	660,080	723,501
レバレッジエクスポージャー	1,981,708	2,160,804

事業部門別実績

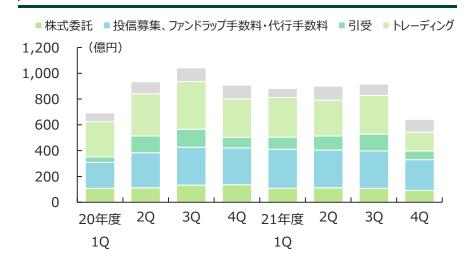
	(億円)	20年度	21年度	前年比*1
リテール	業務粗利益	11,274	11,469	+161
	経費	▲ 9,104	▲ 9,355	▲214
	(経費率)	80.8%	81.6%	▲0.7%
	業務純益	2,192	2,149	▲46
ホールセール	業務粗利益	6,349	7,075	+505
	経費	▲ 2,999	▲ 3,036	▲ 51
	(経費率)	47.2%	42.9%	△2.5%
	業務純益	3,885	4,697	+584
グローバル	業務粗利益	7,237	8,720	+724
	経費	▲3,833	▲ 4,613	▲ 428
	(経費率)	53.0%	52.9%	▲0.6%
	業務純益	3,667	4,312	+228
市場	業務粗利益	4,607	3,906	▲ 712
	経費	▲829	▲923	▲ 52
	(経費率)	18.0%	23.6%	▲ 4.8%
	業務純益	4,135	3,381	▲ 723

SMBC日興

業績

(億円)	20年度	21年度	前年比
純営業収益	3,579	3,342	▲237
販売費·一般管理費	▲2,734	▲2,754	▲20
経常利益	907	653	▲254
親会社株主純利益	717	497	▲220

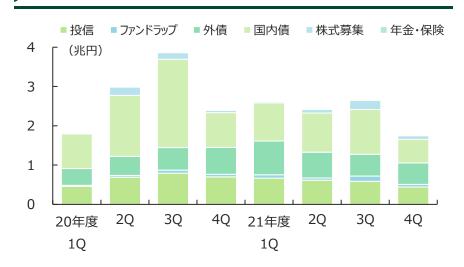
純営業収益



預り資産残高



商品販売額

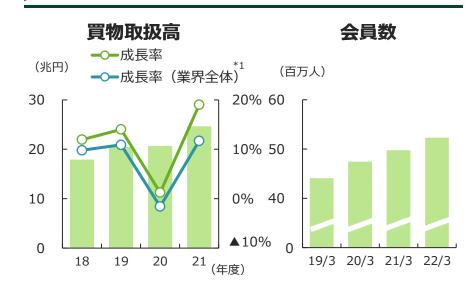


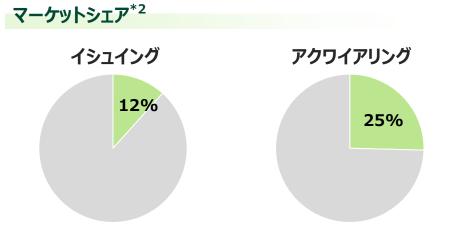
SMCC

業績

(億円)	20年度	21年度	前年比
営業収益	4,475	4,705	+231
うち買物手数料	1,437	1,640	+203
ファイナンス	1,015	982	▲33
信販	323	295	▲29
	481	501	+20
営業費用	▲ 4,130	▲ 4,395	▲ 265
うち貸倒費用	▲227	▲256	▲29
利息返還費用	▲ 144	▲100	△44
経常利益	353	341	▲ 11
親会社株主純利益	358	198	▲ 160
ファイナンス残高	6,675	6,779	

事業の状況





^{*1} 日本クレジット協会「クレジットカード動態調査」ショッピング信用供与額

^{*2} 経産省「特定サービス産業動態統計調査」販売信用業務取扱高(2021年暦年,約68兆円)に占める割合

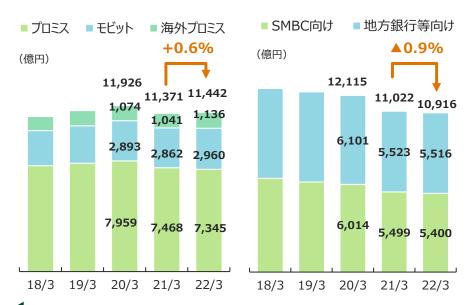
SMBCCF

業績

(億円)	20年度	21年度	前年比
営業収益	2,735	2,689	▲ 46
うち営業貸付金利息	1,788	1,767	▲21
信用保証収益	611	571	▲40
営業費用	▲ 2,008	▲ 2,005	△3
うち貸倒費用	▲ 533	▲487	△46
債務保証費用	▲99	▲108	▲ 9
利息返還費用	▲240	▲220	△20
経常利益	735	686	▲49
親会社株主純利益	541	852	+311
不良債権残高	852	961	
(同比率)	7.49%	8.40%	
利息返還損失引当金 (引当年数)	1,008 3.4年	959 3.5年	

営業貸付金残高

保証残高



利息返還請求件数

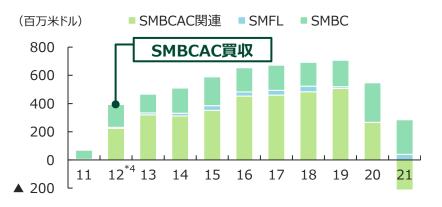


SMBCAC

業績

(百万米ドル)	20年度	21年度	前年比
総収入	1,214	1,479	+265
うちリース収入	1,119	1,366	+247
減損·引当 ^{*1}	▲334	▲ 907	▲ 573
当期純利益	17	▲283	▲300
航空機関連資産*2	15,340	16,210	+870
純資産	3,305	3,322	+17
ROE	0.5%	▲8.5%	▲9.0%

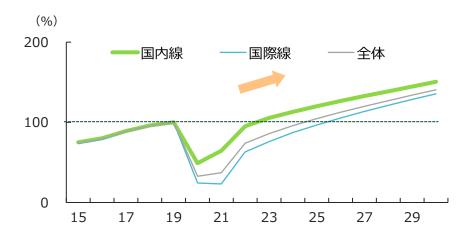
SMBCグループの航空機ビジネス収益



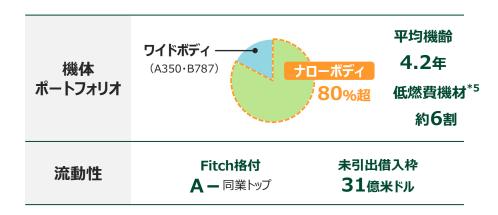
*1 保証金等ネット前のグロス表記 *2 PDP (航空機製造前払金)を含む

世界旅客需要予測*3

● 国内線需要は2023年にCOVID-19前水準を超える見通し



SMBCACの強み



^{*3} IATA / Tourism Economics 19年実績を100とした時の各年の増減率

^{*4} SMBCAC関連収益は買収以降の6月から計上 *5 Neo/MAX/A350/B787